

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

1-⑦

施策

地域社会全体で子どもを守り育てる

担当部局

保健福祉局, 教育委員会



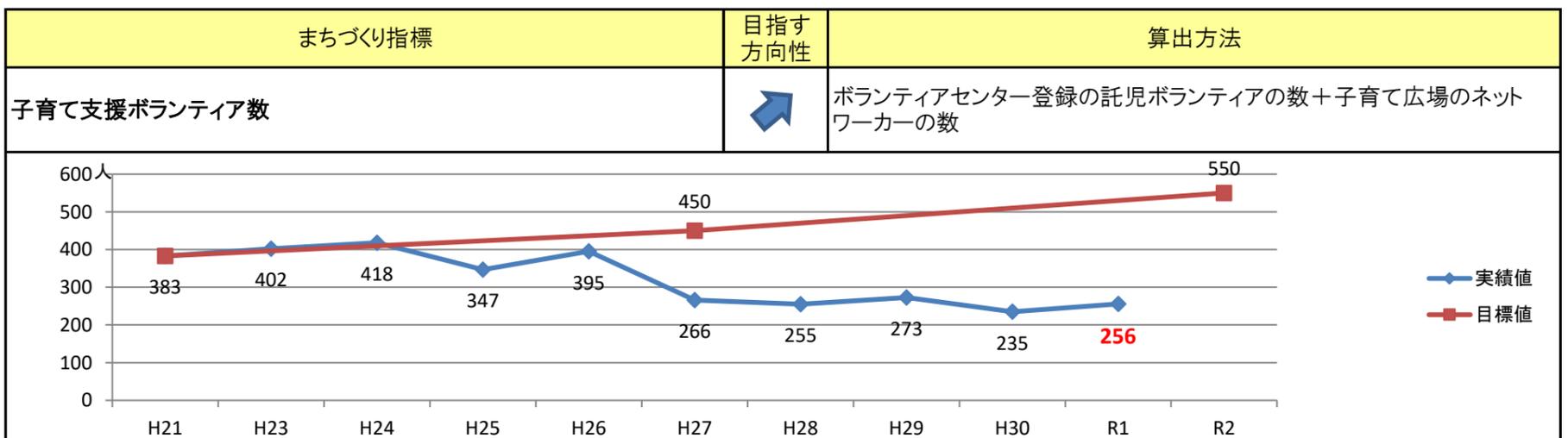
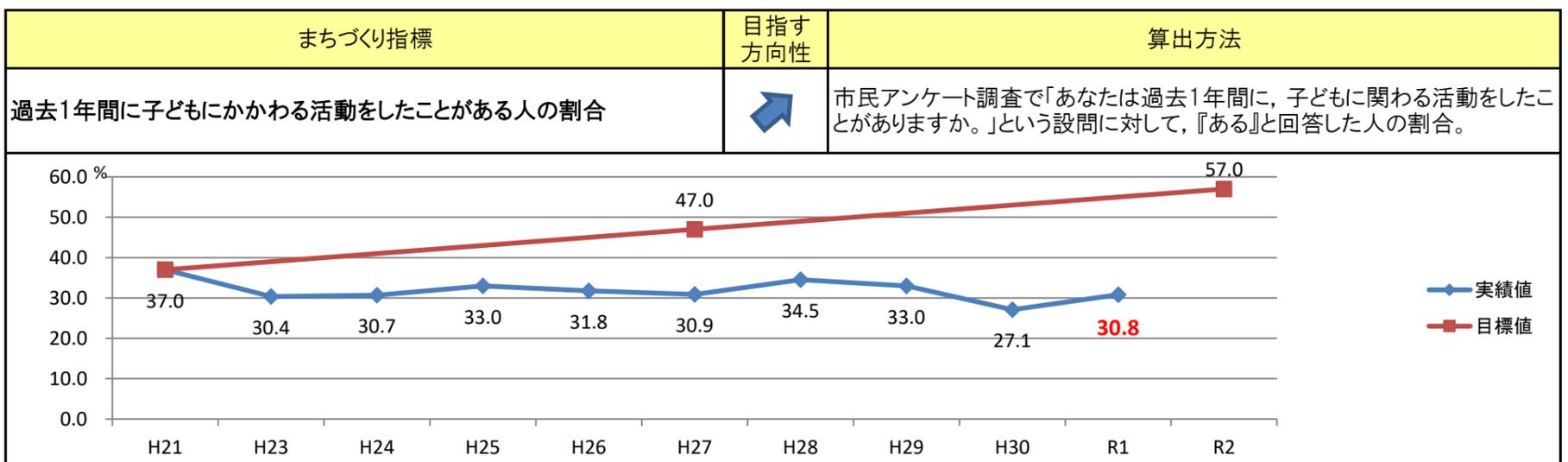
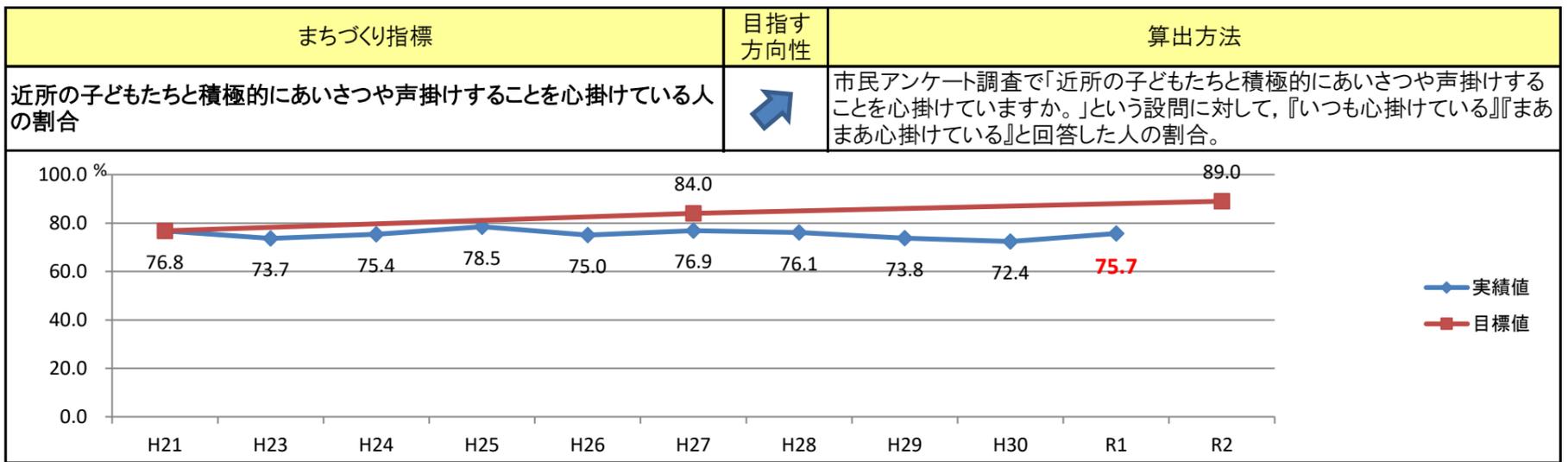
【はぐくみ】

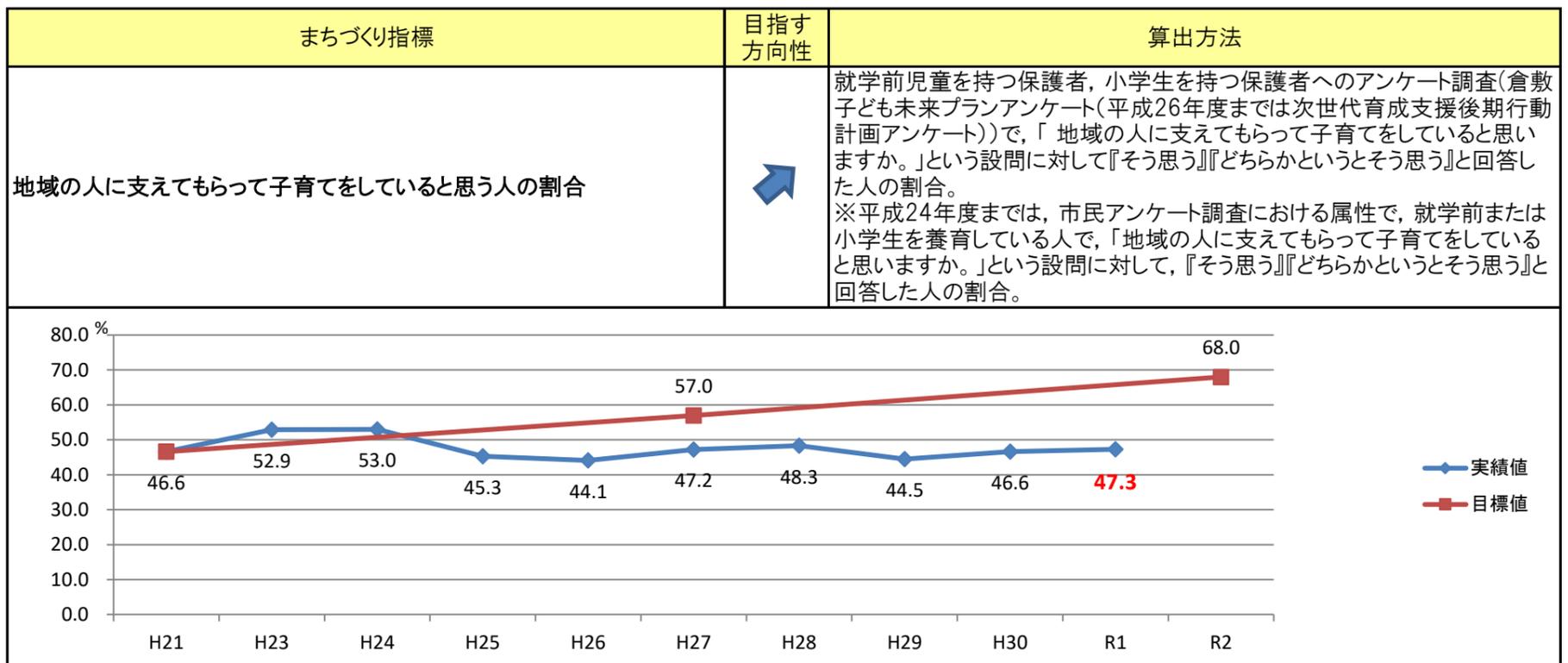
めざすまちの姿 地域がつながり, 助け合い, 互いの信頼関係の中で, 子どもたちを守っている

市の基本方針

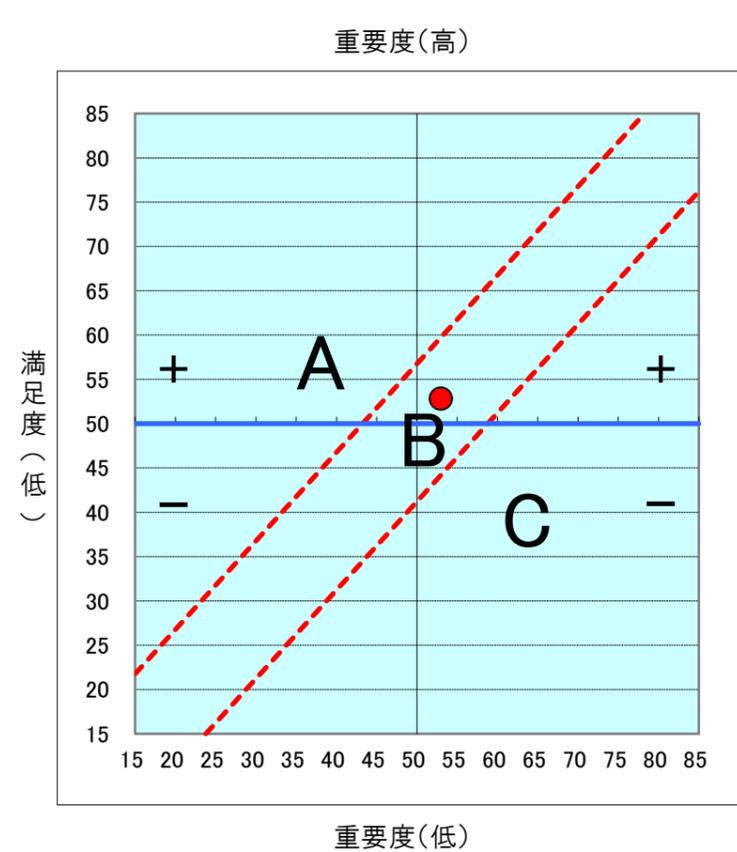
- 地域で子育てを支える担い手を育成するとともに, 子育て支援活動を行っている団体を支援します。
- 子育て支援の拠点間のネットワーク化を進めるとともに, 拠点を中心にして, 各地域で活動している団体間のつながりの強化を図ります。
- 親としての役割を学び, 責任感と自覚を高めるための「家庭教育のための学習」の機会を提供するとともに, 社会教育関係団体の活性化を促進するなど, 家庭や地域の教育力向上を図ります。

数値目標





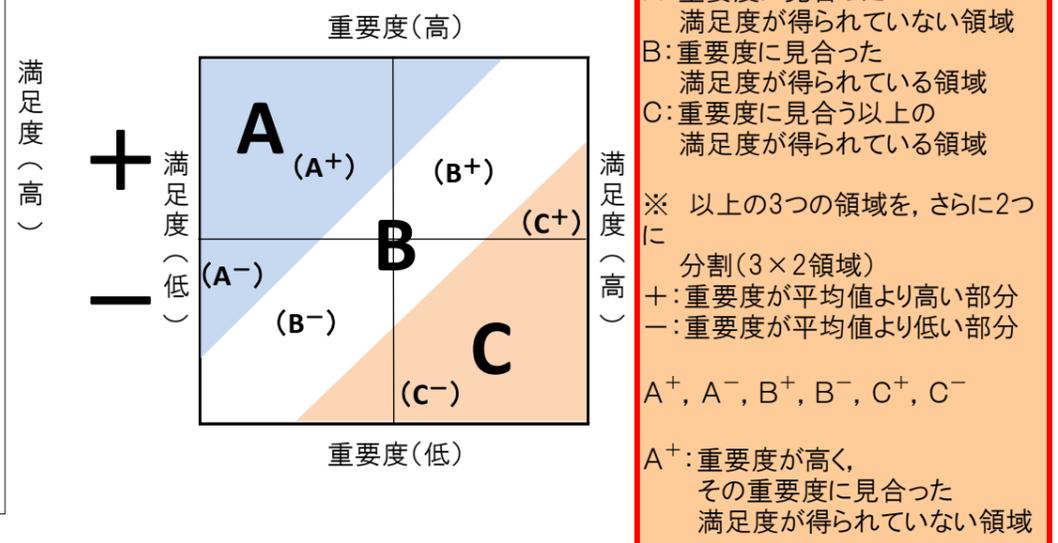
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁺	52.81	52.99

●重要度に見合った満足度が得られている(B)
●重要度が平均値より高い(+)

【グラフの見方】



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
公創	子育てサロン運営事業(再掲)	(Ⅰ) 子育て親子が自由に集まり、交流や仲間づくりを行い、地域の触れ合いの中で子育てを楽しめるよう、各団体が月1回程度実施している。 (Ⅱ) 補助金交付団体は14団体、延べ開催数156回、延べ利用者数3,798人であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	594
公創	地域子育て支援拠点事業 子育てカレッジ事業(再掲)	(Ⅰ) 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 地域の子育て親子が気軽に集い、交流できる場として、地域子育て支援拠点を市内20カ所に設置し、年間182,490人の利用があった。(玉島児童館3階のつどいの広場の利用者数は除く。)また、母親や乳幼児だけでなく、父親等が参加できるイベント等、それぞれの拠点事業実施者の特性を生かしたイベント、講座等を、各拠点において月に1回以上実施するなど、父親の育児参加や、地域で子育てを支援する機運の醸成に寄与した。さらに、13カ所の地域子育て支援拠点においては、地域の子育て支援団体とのつながりを生かした地域支援事業を実施し、地域の課題解決に継続的に取り組んだ。 (Ⅲ) 継続して実施する。	196,093
	子育て広場開設事業(再掲)	(Ⅰ) 子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。 (Ⅱ) 幼稚園等10カ所で開設。269回実施し、延べ6,567人の親子が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,999
	子育て力向上事業(再掲)	(Ⅰ) 子育てを支えている市民・団体間のつながりを強め、各地区の特性を踏まえた子育て支援風土を醸成すること及び各家庭の子育て力を向上することを目的に、子育てを支えている団体等が一堂に会し、情報交換、情報共有する「子育てcafe」を開催した。 (Ⅱ) 地域子育て支援拠点事業を中心に「子育てcafe」でつながりができた団体同士が協働し、地域支援に取り組み始めるなどの成果が見られた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	22
	よい子いっぱい基金運営事業	(Ⅰ) 「よい子いっぱいのまち倉敷」の実現を目指して、基金を活用し、4種の青少年健全育成事業を実施した。 (Ⅱ) 市内26中学校と支援学校で行われる立志式を助成した。また、善行のあった児童生徒や優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する「よい子強い子表彰」では、個人54人、31団体を表彰した。特別な支援が必要な児童生徒の作品展である「倉敷っ子なかよし作品展」では、3,291点を展示した。子どもの豊かな情操を育むことを目的とした「よい子いっぱい芸術鑑賞」では、市内在住・在学の0歳から中学3年生までの子どもたち243人を無料招待した。 (Ⅲ) 新たな助成先を検討しつつ、継続して実施する。	3,767
	成人式記念事業	(Ⅰ) 新成人の門出を祝福し、市民意識の高揚や社会人としての自覚を促すことを目的に実施した。 (Ⅱ) 令和2年1月12日に倉敷スポーツ公園マスカットスタジアムで実施した。新成人代表52人で構成する成人式実行委員会が企画運営に携わり、参加対象者5,181人のうち3,003人が入場し、盛況のうちに式典を終えることができた。 (Ⅲ) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を踏まえ、「新しい生活様式」を取り入れながら、継続して実施する。	4,340
	こどもまつり実施事業	(Ⅰ) 健全な遊びや体験活動を通して交流を深めるとともに、団体の活動をPRするなど、青少年団体の活性化を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) ライフパーク倉敷で41回目の「こどもまつり」を実施した。子ども会やボーイスカウトなど各団体が様々なイベントを実施し、2,345人が参加した。 (Ⅲ) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を踏まえ、「新しい生活様式」を取り入れながら、継続して実施する。	1,768
	青少年健全育成推進大会実施事業	(Ⅰ) 倉敷市における、青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 第42回倉敷市青少年健全育成推進大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止とした。 (Ⅲ) 青少年健全育成活動従事者や市民のニーズを取り入れながら、継続して実施する。	277
創	家庭教育学級開設事業(再掲)	(Ⅰ) 保護者を対象に健全で明るい家庭づくりと家庭の教育力向上を目的に、集団で学習する家庭教育学級を開設した。 (Ⅱ) 地域団体や幼稚園PTAの18団体に家庭教育学級を委託した。73講座を開講し、延べ5,606人が参加した。 (Ⅲ) 参加者増加のため事業内容を改善しつつ、継続して実施する。	1,447
創	放課後子ども教室推進事業	(Ⅰ) 子供たちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等を行うことを目的に実施した。 (Ⅱ) 63小学校区で実施。実施日数は、合計3,098日、子ども延べ269,474人とボランティア延べ23,468人が参加した。 (Ⅲ) プログラム内容の見直しを行いながら、継続して実施する。	6,903